



# 松坂屋 史料室 企画展 Vol.7

## 創業400周年明治時代の松坂屋

平成23年9月1日(木)→11月27日(日)

わが国に大変革をもたらした明治維新は、呉服店にも大きな影響を及ぼした。

松坂屋の創業家である伊藤家も、明治6(1873)年に端を発した藩債整理問題(尾張藩に対する御用金の償還要求)など多事多難であったが、14代祐昌はこうした難局にひるむことなく、次々と発展への布石を打っていった。

本業の呉服店では、明治8(1875)年2月に大阪の「恵比須屋」を買収して「えびす屋いとう」を開店、同年9月には岐阜支店を開設した。そして金融面では、同9(1876)年に愛知県為替方となり、第十一国立銀行(明治10年)、伊藤銀行(同16年)、伊藤貯蓄銀行(同26年)、愛知銀行(同29年)の設立に大きく関わっていった。

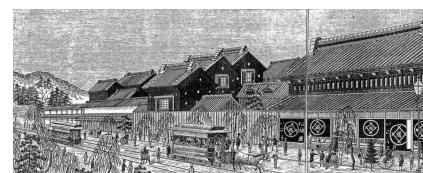
中期以降になると、日清戦争(明治27~28年)、日露戦争(同37~38年)を経て資本主義経済が発展し、企業の数が増え、都市への人口流入が加速するようになり、呉服店も改革を迫られていく。

こうしたなか、15代祐民が表舞台に登場し、百貨店化への動きを加速させていった。



「えびす講大売出し」の引札(上野店／明治5年)  
呉服店の大売出しは、江戸時代から明治のころまでは春秋の2回、正月2日の「初売り」と10月20日の「えびす講」ぐらいであった。

「えびす講」とは、えびす神をまつる祭事のことと、関西では「誓文払い」ともいった。この日、呉服商の多くが店内を華やかに飾り、顧客の福運と自らの商売繁昌を祈念する大売出しを行った。



「東京商工博覧絵」(上野店／明治18年)

鉄道馬車は、線路の上を走る車を馬が引くもので、19世紀にイギリスで誕生した。ただの馬車に比べて乗り心地もよく、輸送力も大きいことから広く使われていた。日本では明治15(1882)年6月に新橋→日本橋間を走ったのが最初で、その後ほどなく日本橋から上野→浅草→浅草橋→日本橋へと延長され、循環線となった(明治36年に市内電車に移行するまで続いた)



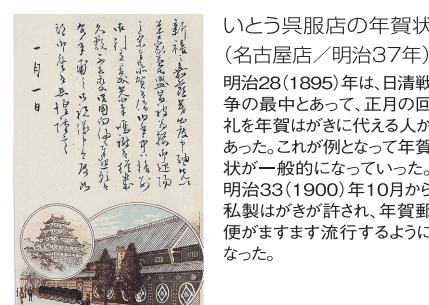
「尾陽商工便覽」(名古屋店／明治21年)

明治9(1876)年、三井組とともに「愛知県為替方御用」を申し付けられた伊藤家は、店舗に隣接する本町角に伊藤為替方の出納所を開設し、業務にあたった。この出納所が明治14(1881)年開業の名古屋初の私立銀行・伊藤銀行(現三菱東京UFJ銀行)へと引き継がれていった(右端が伊藤銀行)



「第2回博覧会一覧之図」(上野店／明治14年)  
明治政府は、殖産興業政策の一環として、しばしば海外の万国博覧会に参加し、国内では博覧会、共進会を開催した。なかでも重要であったのが5回にわたって開かれた「内国勧業博覧会」であった。

上野店は、西南戦争のあった明治10(1877)年の8月から11月にかけて上野公園で開催された「第1回国勧業博覧会」および同14(1881)年の第2回、同23(1890)年の第3回に数多くの呉服を出品した。



いとう呉服店の年賀状  
(名古屋店／明治37年)

明治28(1895)年は、日清戦争の最中とあって、正月の回礼を年賀はがきに代える人があった。これが例となって年賀状が一般的になっていった。明治33(1900)年10月から私製はがきが許され、年賀郵便がますます流行するようになった。



4大呉服店の双六〔「新愛知」付録〕(明治42年)

名古屋の4大呉服店といわれていた、いとう呉服店、大丸呉服店、十一屋呉服店、桔梗屋呉服店をテーマにした双六は、明治42(1909)年1月1日の「新愛知」新聞の付録。4大呂服店は、いずれも当時のメインストリートである本町通りに店舗を構え、しのぎを削っていた。



広小路の東から望む「いとう呉服店」(明治末)

明治31(1898)年5月6日、笹島(旧名古屋駅前)から県庁前(久屋町)までの広小路を路面電車が走り出した。京都の伏見線に次ぐ日本で2番目の路面電車であった。それから10年後の明治41(1908)年5月3日、栄町と熱田駅を結ぶ熱田線が開通した。

そして明治43(1910)年3月1日、この広小路線と熱田線が交差する広小路の栄町角に名古屋初のデパートメントストア「いとう呉服店」が開業した。





# 松坂屋 400年の歩み History of Matsuzakaya since 1611

## 百貨店への胎動(明治時代の松坂屋)

西暦	和暦	月 日	いとう呉服店(松坂屋)の動き	社会の動き
1868	明治元	5 28	新政府の御用達になる(上野店)	1868 7 17 江戸を東京に改称
		11 4	尾張徳川家に4,000両調達(伊藤家)	1869 6 17 版籍奉還
		12	祐昌、名古屋藩の国産用達総裁に就任(伊藤家)	1871 5 10 新貨条例制定
1870	明治3		京店、仮店舗を建築(京都店)	7 14 廃藩置県
1871	明治4	1	犬山に出張店を開設(名古屋店)	1872 4 2 名古屋県を愛知県に改称
		4 8	祐昌、名古屋藩の通商会社総頭取に就任(伊藤家)	8 3 学制発布
1872	明治5	1	岐阜に出張店を開設(名古屋店)	11 9 太陽暦を採用
1873	明治6	12 9	木綿問屋・亀店、6度目の類焼(木綿問屋)	1873 1 10 徵兵令発布
1875	明治8	2 17	恵比須屋を買収、大阪店を開設(大阪店)	1874 5 1 東別院で愛知博覧会開催
		9 15	岐阜支店を開設(名古屋店)	
		10	亀店、新築落成開店(木綿問屋)	
1876	明治9	1 10	愛知県為替方となる(伊藤家)	1876 5 9 上野公園開園
		1 17	本町角に出納所を開設(伊藤家)	1877 2 15 西南戦争勃発
1877	明治10	8 21	第1回勧業博覧会に出展(上野公園)(上野店)	1878 9 14 名古屋博物館を総見寺境内に新築
1878	明治11	6 3	祐昌、名古屋博物館長に就任(伊藤家)	9 15 愛知県物産博覧会開催
1881	明治14	3 1	第2回勧業博覧会に出展(上野公園)(上野店)	
		3 28	祐昌、名古屋商法会議所会頭に就任(伊藤家)	
		9 1	伊藤銀行を設立(現三菱東京UFJ銀行)(伊藤家)	
1882	明治15	7	業界初の「夏物売出し」を行う(名古屋店)	
1883	明治16	9	伊藤銀行、東京支店開設(伊藤家)	1881 3 28 名古屋商法会議所設立
1887	明治20	6 1	「夏物売出し」を行う(上野店)	1882 6 25 東京に鉄道馬車走る
1890	明治23	4 1	第3回勧業博覧会に出展(上野公園)(上野店)	1883 7 28 上野駅、開業
		9 5	大阪支店、類焼(大阪店)	
1891	明治24		大阪店、新築開店(大阪店)	1885 12 22 内閣制度制定
		10 28	岐阜支店類焼(名古屋店)	1886 5 1 熱田一箇島間汽車開通、名古屋駅開設
1893	明治26	3 28	伊藤貯蓄銀行を設立(現りそな銀行)(伊藤家)	
		9 13	電話を新設(上野店)	1889 2 11 大日本帝国憲法発布
		12 31	ガス灯を点灯(上野店)	10 1 名古屋区を名古屋市に改称
1894	明治27	7 1	洋式簿記を導入(業界初)(上野店)	1891 10 28 濃尾大地震
1898	明治31	10 15	電話を新設(名古屋店)	
1900	明治33		商号を「いとう」から「いとう呉服店」へ変更(名古屋店)	1894 6 25 愛知馬車鉄道会社設立(現名古屋鉄道)
		5 19	京都店焼失(京都店)	8 1 曰清戦争勃発
1901	明治34	10 15	特売を始める(上野店)	
		11 18	「明治の掟書」を制定(元文の掟書を改定)(伊藤家)	
1903	明治36	5 10	京都店再建(京都店)	
1905	明治38	8 16	ファッショショードを行なう(業界初)(名古屋店)	
		10 10	陳列立売りを行う(名古屋店)	1898 5 6 箕島一久屋町に電車開通
1906	明治39	9 20	PR誌『衣道樂』創刊(名古屋店)	10 11 名古屋市内電話の通話開始
		9	ショーケースとショーウィンドーを設置(名古屋店)	
		11 1	陳列式の改装に着手(上野店)	
1907	明治40	3 14	長島町三丁目に裁縫所を設置(名古屋店)	1902 1 30 曰英同盟調印
		4 1	陳列式で開店。女性社員を採用(上野店)	
		11 21	ガス灯を設置(名古屋店)	1904 2 10 曰露戦争勃発
1908	明治41	9 23	栄町新店舗、地鎮祭(名古屋店)	12 20 三越「デパートメントストア宣言」
		9	3階建て洋館落成(上野店)	
1909	明治42	3 7	伊藤産業合名会社設立(伊藤家)	1905 9 5 ポーツマス講和条約調印
		3 31	大阪店、一時閉鎖(大阪店)	1906 10 22 名古屋電力株設立
		8 19	祐民、渡米実業団に加わり横浜港を出港(伊藤家)	11 5 名古屋瓦斯株設立
1910	明治43	2 1	株式会社いとう呉服店を設立(全店)	1907 6 1 熱田町を名古屋市域に編入
		2	PR誌『モーラ』創刊(名古屋店)	10 27 名古屋市内にガス灯点る
		3 1	新店舗落成、デパートメントストア営業開始(名古屋店)	1908 4 1 名古屋市・東・西・南・中の4区制実施
1911	明治44	1 2	福袋(多可良函)を発売(名古屋店)	
		3 18	いとう呉服店少年音楽隊結成(名古屋店)	1910 3 16 第10回関西府県連合共進会開催
		8 31	岡崎支店廃止(名古屋店)	4 12 名古屋開府300年記念祭開催
1912	明治45	2 8	新聞広告で店員募集(名古屋店)	1911 3 1 帝国劇場開く
		3 18	岐阜支店廃止(名古屋店)	1912 1 1 中華民国樹立
		6 15	夏期の土・日曜日、夜間営業開始(名古屋店・上野店)	6 15 東海道線特急列車運転開始

